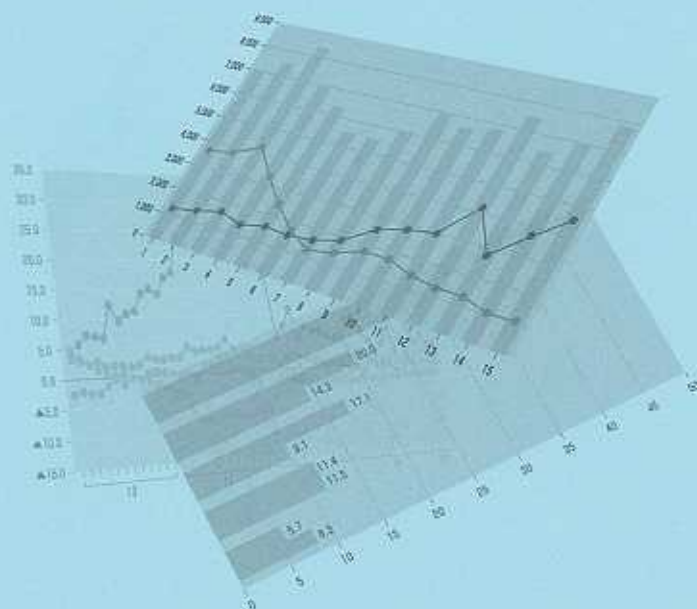


岡山企業が考える 情報化の未来戦略



平成18年5月

社団法人 岡山経済同友会

地方の時代と企業の情報化

現在、IT (Information Technology) はごく当たり前のこととして至る所に存在しています。通信、放送、家電、自動車等あらゆるものが電子化され生活に深く入り込んでいます。ビジネスの場でも病院や行政サービスも電子化が急ピッチに進み、政府が推進する e-Japan ではユビキタス時代 (コンピュータが生活環境の中に自然に溶け込んでいる状態) の到来を想定しより高度な IT 化が推進されています。

又、市町村合併が推進され更に道州制の議論が高まる中で地方の時代は現実味を帯びて来ています。力強い地域の形成には力強い中小企業の存在が必要であり、中小企業が固有の強みを活かして独自技術を創造し、サービスの向上を図ると共に、マーケットを切り開いて成長し続ける力を持つことが大前提となっています。IT (情報化) は企業の成長、経営の効率化を図る上で重要な役割を担っています。

従来 IT はその殆どが事務処理の効率化を目的として導入されました。一方で昨今の金融、証券、小売、旅行代理店等に見られるネット販売等はインターネットの利用者であれば場所、時間を選ばない為、商圏が広がり急成長をしています。最小限のコストで最大限の商圏を確保する考え方です。もちろん地方企業に有ってもインターネットの活用は一つの有力な選択肢ですが、そればかりではなく IT をもっと戦略的に使うことによって事業基盤の拡大を図ることができると考えます。

売上規模の拡大、利益率の向上を目的とする設備投資や情報投資、又、構造改革 (ビジネス プロセス リエンジニアリング) や組織改革等はどれもが経営者でなければ決断を下すことができない重要案件です。こうした重要事項についても IT が大きく係わっています。取りも直さず、企業の成長を託す IT 化は経営者が自ら理解し導入の決断をする必要があるという事であり、更に言えば、経営者の考え方そのものが IT を通じて経営に反映される時代が到来していると言えます。

地方の時代を迎える今、企業にとって有効な情報化投資とはどのような形で行なわれるべきか。情報化委員会ではこの度、企業の IT 活用状況に関するアンケート調査を実施すると共に、各分野より学識経験者にご参加頂き、座談会を催し情報化投資の方向性、在り方について検討しました。その成果として IT ステアリングシート (情報化準備表) を作成するに至り、別表として添付いたしました。これは、情報化を推進しようとして決意されている企業の経営者、担当者、情報システム提供業者の誰もが、情報化に際して何をすべきかの共通認識を導き出す為の準備表です。添付の表は小売、卸売業を想定して作成いたしました。各業態によって求められている項目は異なりますので、まずは独自の準備表を作成し、一覧性を持って全体最適、部分最適の整合性を求めることをお勧めいたします。

なお、委員会活動に際してご指導いただきました岡山商科大学中井透教授、西敏明教授に深く感謝申し上げます。

平成18年5月吉日

社団法人岡山経済同友会

代表幹事 永島 旭

代表幹事 吉川 昌宏

情報化委員会委員長 松田 久

岡山企業が考える情報化の未来戦略

目 次

第1章 企業のIT活用に関する提言	1
・コミュニケーション不足から生じる意思の疎通に係わる問題点	
・システム化におけるポイント一覧の活用	
・自社独自のITステアリングシートの作成を	
第2章 「企業のIT活用状況に関するアンケート」調査対象および結果報告	16
第3章 アンケート調査結果を受けての座談会	18
・開催日：平成18年2月24日 於：両備システムズ会議室	
・「情報化投資のあり方ーカギ握る経営者の戦略ー」（山陽新聞掲載記事）	
第4章 アンケート調査結果（抜粋）	20
第5章 アンケート調査結果分析（1）	28
第6章 アンケート調査結果分析（2）	39
付録：	
1. 「ITステアリングシート」の公開について	48
2. アンケート依頼文書	50
3. アンケート用紙（経営責任者向け）	51
4. アンケート用紙（情報システム担当者向け）	57
情報化委員会名簿	59